

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 6 月 12日

山口県知事 殿

提出者

住 所 山口県防府市鐘紡町4番1号

氏 名 株式会社ベルポリエステルプロダクツ

代表取締役 小 林 淳

電話番号 0835-25-6500

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社ベルポリエステルプロダクツ
事業場の所在地	山口県防府市鐘紡町4番1号
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	化学工業 プラスチック製造業[1635]
②事業の規模	製造品出荷額 11,581百万円
③従業員数	248人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙「ポリエステル樹脂製造工程、廃棄物処理フロー」のとおり

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙「産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項」のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-1のとおり	
	排出量	2,803 t	t
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・生産技術の向上により、不良品の減少を目指す。 ・数値目標を掲げて、ポリエステル樹脂屑の発生抑制に取り組む。 ・運転技術の向上により、汚泥の発生抑制に取り組む。 ・輸送荷姿をリサイクル可能なものへ変更実施。(原料コンテナ) ・廃棄物を分別し、売却可能なものの売却化に取り組んだ。 		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-1のとおり	
	排出量	2,732 t	t
	(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の分別をさらに徹底教育実施。 ・売却可能なものの売却化を更に推進する。 		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類→分別し有価物として売却できるようにしている。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類→処分単価を現場に公開し、分別を促す。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) ・実施例なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1,654 t	880 t
	(これまでに実施した取組) ・焼却炉の助燃料として使用しているメタルの濃度を上げることにより、燃焼効率を上げ重油の使用を抑えた。 ・燃焼物の量を調整して重油の使用を抑えた。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1,650 t	880 t
	(今後実施する予定の取組) ・特になし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) ・実施例なし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-1のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・再生利用を目的とする委託業者を最優先に選定する。 ・収集運搬から処分に至るまで確認し、的確に管理する。		

②計画	【目標】最終処分率1%以下の維持		
	産業廃棄物の種類	別紙2-1のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・可能な限り優良認定処理業者から選定する。 ・委託先処理業者には定期的な現地確認を実施する。 ・廃棄物の最終処分方法を可能な限りセメント化・セメント原料化にし、温室効果ガス発生量抑制に努める。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

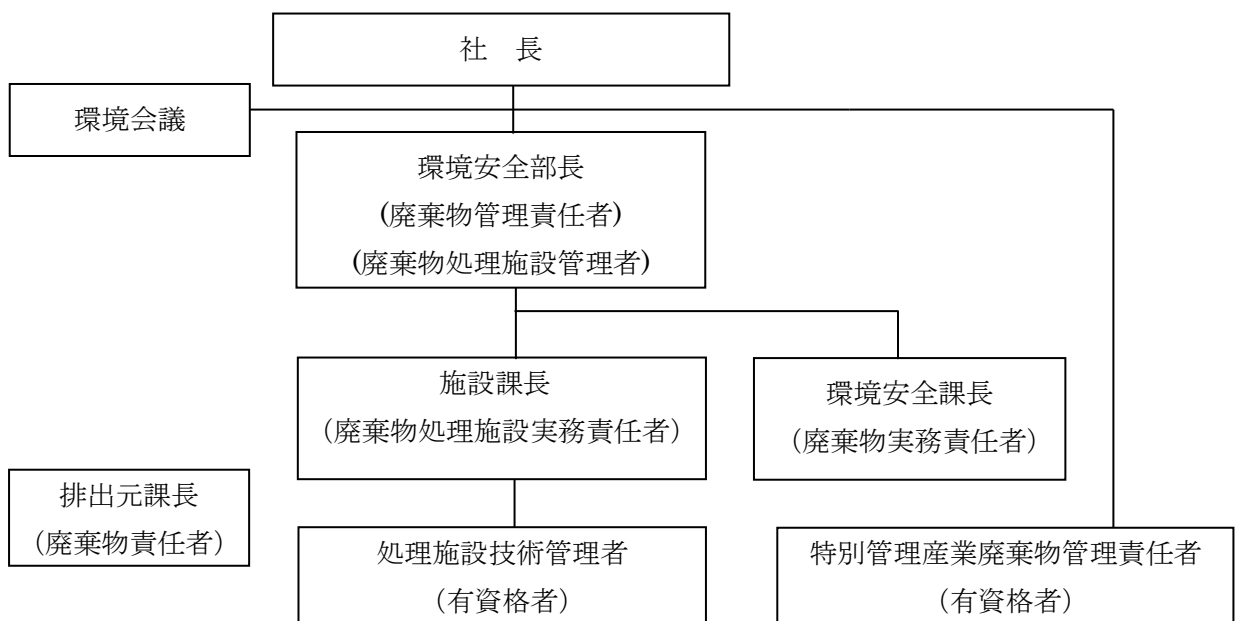
発生源	廃棄物	処理・処分	
ポリエステル樹脂製造工程	(a) 廃フラ(EG回収釜残) 880 t/年	焼却施設(自社) 880 t/年 再生利用(造粒固化・混練) 18.50 t/年 A 861.5 t/年	
	(b) 廃油(原料、スラリー、タール等) 13.99 t/年	油水分離(業者) 0.000 t/年 再生利用(再生油)	
		焼却施設(業者) 0.00 t/年 再生利用(セメント燃・原料化)	
		特管産廃 13.99 t/年	
	(c) 廃フラ(ポリエステル樹脂層) 155.41 t/年	焼却施設(自社) 0.000 t/年 再生利用(造粒固化・混練)	
		焼却施設(業者) 67.46 t/年 埋立処分(管理型埋立)	
		破碎施設(業者) 0 t/年 焼却焼成施設(業者)	
		破碎施設(業者) 87.95 t/年 再生利用(セメント燃・原料化)	
	(d) 廃フラ(フロン・ポリマー・フィルム・プララム・原料空容器等) 70.54 t/年	破碎施設(業者) 60.27 t/年 再生利用(セメント燃・原料化)	
		焼却施設(業者) 10.27 t/年 焼却焼成施設(業者)	
	(e) 汚泥(工程汚泥等) 1660.11 t/年	焼却施設(自社) 1654 t/年 再生利用(造粒固化・混練) 34.76 t/年 B 1619.24 t/年	
		焼却施設(業者) 0.000 t/年 焼却焼成施設(業者)	
		焼却施設(業者) 6.107 t/年 再生利用(セメント燃・原料化)	
		特管産廃 0 t/年	
		混合調整セメント固化(業者) 0 t/年 混合調整セメント固化	
委託量 40.87 t/年	混合調整(業者) 0.00 t/年 焼却施設(業者) 0.000 t/年		
	特管産廃 0.00 t/年		
(f) 廃酸(スラリー等) 0.000 t/年	焼却施設(業者) 0.000 t/年 焼却焼成施設(業者)		
ポリエステル樹脂研究施設分析施設	(g) 廃油(クロホルム等) 0.770 t/年	焼却施設(業者) 0.000 t/年 再生利用(セメント燃・原料化) 0.770 t/年 埋立処分(管理型埋立) 0 t/年	
	(h) 廃酸(試薬等) 0.02 t/年	特管産廃 0.000 t/年 焼却施設(業者) 0.02 t/年 焼却焼成施設(業者) 0.12 t/年 埋立処分(管理型埋立) 0 t/年	
	(i) 廃アルカリ(試薬等) 0 t/年	特管産廃 0 t/年 焼却施設(業者) 0 t/年 焼却焼成施設(業者) 0 t/年	
	(j) 汚泥(試薬等) 1.85 t/年	特管産廃 0.000 t/年 焼却施設(業者) 1.85 t/年 再生利用(セメント燃・原料化)	
	(k) 金属屑(水銀) 0.000 t/年	特管産廃 0.000 t/年 焙焼施設(業者) 0.000 t/年 再生利用(水銀)	
	(l) ガラス屑(水銀) 0.405 t/年	特管産廃 0.000 t/年 焙焼施設(業者) 0.405 t/年 再生利用(水銀)	
	(u) 廃酸(水銀) 0.000 t/年	特管産廃 0.000 t/年 焙焼施設(業者) 0.000 t/年 再生利用(水銀)	
	(v) 特管水銀等 0.0000 t/年	特管産廃 0.0000 t/年 焙焼施設(業者) 0.0000 t/年 再生利用(水銀)	
	その他	(m) 木くず(梱包材等) 17.1 t/年	破碎施設(業者) 17.1 t/年 再生利用(合板)
		(n) ガラス屑(パケフィルタ等) 1.75 t/年	焼却施設(業者) 1.75 t/年 再生利用(資源化)
		(o) 廃油(熱媒油、グリソ等) 0.440 t/年	油水分離(業者) 0.000 t/年 再生利用(再生油)
			焼却施設(業者) 0.000 t/年 埋立処分(管理型埋立)
焼却施設(業者) 0.440 t/年 再生利用(セメント燃・原料化)			
(p) 廃アルカリ(タンク洗浄) 0.000 t/年		中和施設(業者) 0.000 t/年 中和処理	
(q) 金属屑 0.00 t/年		焼却施設(業者) 0.000 t/年 再生利用(金属)	
(r) PCB(安定器) 0.000 t/年		特管産廃 0.000 t/年 焼却施設(業者) 0.000 t/年 再生利用(セメント原料化)	
(s) 廃フラ(フラ製品・合成ゴム等) 0.000 t/年		焼却施設(業者) 0.000 t/年 再生利用(セメント燃・原料化)	
(t) 汚泥(電池・スラム・重油スラッジ等) 0.000 t/年		焼却施設(業者) 0.000 t/年 再生利用(資源化)	
		油水分離(業者) 0 t/年 再生利用(セメント燃・原料化)	
(u) 石綿含有産業廃棄物(石膏ボード) 0 t/年	埋立 0 t/年		
(v) がれき類 0.53 t/年	埋立 0.53 t/年		

別紙 「産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項」

(1)責任者及び管理組織

統括責任者		代表取締役 小林 淳
廃棄物担当		環境安全部長 組織人数：4名
役割	環境会議	○廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生の抑制、再生利用、中間処理、適正処理の推進、委託処理に関する検討、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・責任者 — 社長 ・議長 — 環境管理責任者（環境安全部長） ・事務局 — 環境安全課
	管理責任者	○廃棄物処理管理方針の策定 ○廃棄物管理規程の策定改廃 ○廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
	実務責任者	○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握 ○処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○委託処理契約の締結 ○産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物管理票の交付・管理 ○特別管理産業廃棄物管理責任者、技術管理者の設置 ○官公庁への各種報告 ○従業員、協力会社に対する教育・啓発 ○その他関係する事項
	処理施設管理責任者 処理施設実務責任者	○焼却炉に関する全般の管理
	処理施設技術管理者	○焼却炉の技術管理

廃棄物管理組織



多量排出事業者の産業廃棄物処理計画書(補足)(令和5年度計画)

別紙2-1

多量排出事業者 名称	株式会社ベルポリエステルプロダクツ	所在地(市町名)	防府市	事業の種類	化学工業 プラスチック製造業
------------	-------------------	----------	-----	-------	-------------------

(単位:トン)

区分	種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項										
		排出量		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		
		現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	
産業廃棄物	燃え殻																					
	汚泥	1,662	1,650					1,654	1,650			43	40	43	40	41	38					
	廃油	15	15					0	0			15	15	15	15	15	15					
	廃酸	0.02	0.02					0	0			0.02	0.02	0.02	0.02	0	0					
	廃アルカリ	0	0					0	0			0	0	0	0	0	0					
	廃プラスチック類	1,106	1,050					880	880			244	188	235	179	167	111					
	紙くず	0	0					0	0			0	0	0	0	0	0					
	木くず	17	15					0	0			17	15	0	0	0	0					
	繊維くず	0	0					0	0			0	0	0	0	0	0					
	動植物性残さ	0	0					0	0			0	0	0	0	0	0					
	動物系固形不要物	0	0					0	0			0	0	0	0	0	0					
	ゴムくず	0	0					0	0			0	0	0	0	0	0					
	金属くず	0	0					0	0			0	0	0	0	0	0					
	ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず	2.7	2					0	0			2.7	2	1.6	1.0	1.6	1.0					
	銲さい																					
	がれき類																					
動物のふん尿																						
動物の死体																						
ばいじん																						
13号廃棄物																						
計 (A)		2,803	2,732	0	0	0	0	2,534	2,530	0	0	322	260	295	235	224	165	0	0	0	0	